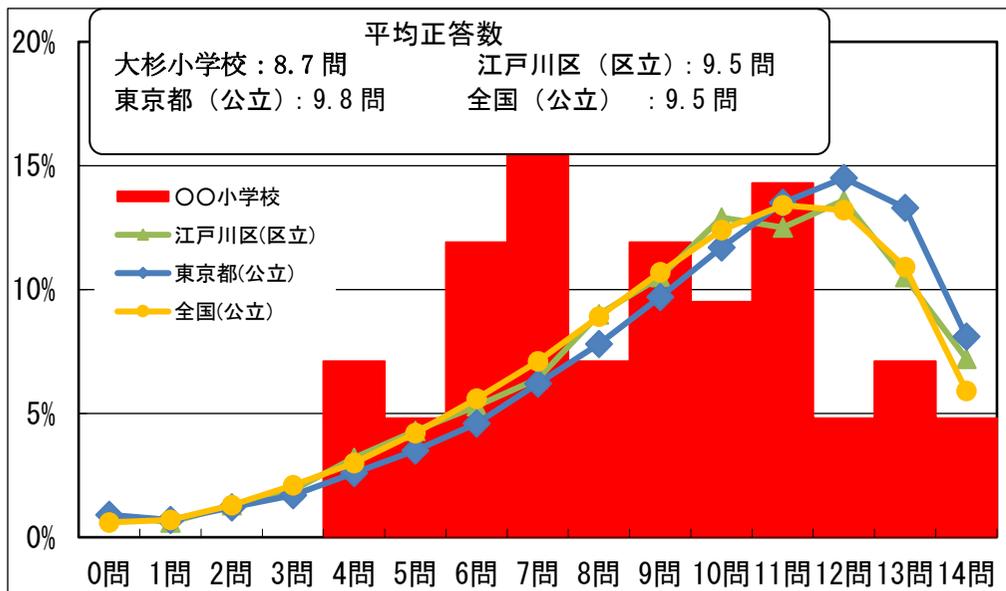


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】大杉小学校

正答数分布



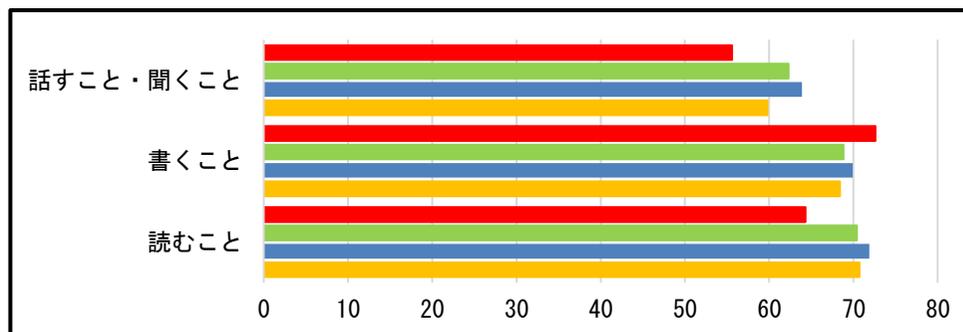
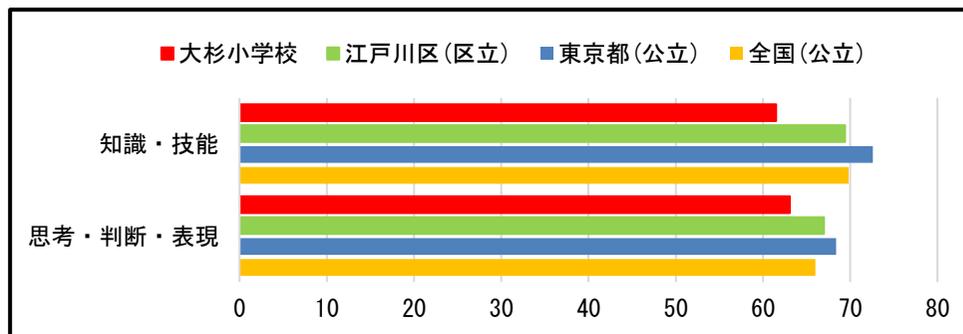
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12～14問	B層 10～11問	C層 8～9問	D層 0～7問
大杉小学校	16.7	23.8	19.0	40.5
江戸川区（区立）	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都（公立）	35.9	25.2	17.5	21.4
全国（公立）	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

大杉小学校	62%
江戸川区（区立）	68%
東京都（公立）	70%
全国（公立）	67.7%
都との差	-8%

%

【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

- ・「書くこと」については、児童に類似問題を継続的に取り組んでいることが正答率の向上につながった。
- ・漢字の正答率が低い。特に「無回答」が30%弱であり大きな課題である。

【授業改善】

- ・国語の「基礎・基本（特に言語）」を毎時間授業の中で扱うとともに、定期的に定着度も確認し、確実に「知識」として身に付けさせていく。